

項目		数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成） 最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方 (国の基本指針)	本市の見込方法
①	施設入所者から地域生活への移行	実人員	人	年間実績	0	0	1	0	-	5 (R6～R8までの合計)	1	1	1	1	令和7年度末の施設入所者の6%以上が地域生活へ移行することを基本とする。	令和7年度末時点の施設入所者数65人の6%以上がR11年度末までに地域生活へ移行（計4人⇒R8年度1人、R9年度1人、R10年度1人、R11年度1人）
	施設入所支援	施設入所支援	人	3月末時点の人数	64	67	65	65	-	63	64	63	62	61	令和7年度末の5%以上削減することを基本とする。	令和7年度末時点の施設入所者数65人の5%以上を地域移行の目標とする。R11で4人減少を見込む。
②	福祉施設から一般就労への移行	実人員	人	年間実績	5	2	8	5	-	7	5	5	5	6	令和6年度実績の1.31倍以上が一般就労への移行することを基本とする。 R6 2人⇒R11 3人	過去3カ年の平均を上回る人数を見込む。 （令和6年度の移行実績の3倍を見込む。）
	就労移行支援から一般就労への移行者数	実人員	人	年間実績	3	1	3	2	-	3	2	2	2	3	令和6年度の移行実績の1.14倍以上を基本とする。 R6 1人⇒R11 2人	令和6年度の移行実績の3倍を見込む。
	就労継続支援A型から一般就労への移行者数	実人員	人	年間実績	1	0	1	1	-	1	1	1	1	1	令和6年度の移行実績のおおむね1.52倍以上を基本とする。 R6 0人⇒R11 1人	令和6年度の移行実績が0のため、1人を見込む。
	就労継続支援B型から一般就労への移行者数	実人員	人	年間実績	1	1	3	2	-	3	2	2	2	2	令和6年度の移行実績のおおむね1.67倍以上を基本とする。 R6 1人⇒R11 2人	令和6年度の移行実績の2倍を見込む。
	就労定着支援事業	利用人数	人	3月分の実績	2	1	2	2	-	5	2	3	4	5	令和6年度実績の1.47倍以上とすることを基本とする。 R6 1人⇒R11 2人	令和8年度は過去3カ年平均を見込み、令和11年度までに5人を見込む。
	協議会設置圏域内における就労選択支援事業所	事業所数	か所	3月時点	-	-	0	0	-	-	0	0	0	1	協議会の設置圏域ごとに就労選択支援事業所を1事業所以上設置することを基本とする。	事業所数1か所を見込む。
③	児童発達支援センターの設置	設置数	か所	3月時点	0	0	0	0	-	-	0	0	0	1	中核的な支援機能を確保することを基本とする。	児童発達支援センターの設置を目標とする。
	インクルージョン推進のための協議の場の設置	設置の有無	か所	3月時点	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	令和11年度末までにインクルージョン推進のための協議の場を設置することを基本とする。	協議の場を検討する。
	重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所	事業所数	か所	3月時点	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	令和11年度末までに重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所を1カ所以上確保することを基本とする。	今後も1カ所を見込む。
	重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所	事業所数	か所	3月時点	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	令和11年度末までに重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所を1カ所以上確保することを基本とする。	今後も1カ所を見込む。
	医療的ケア児支援の協議の場の設置	設置数	か所	3月時点	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	令和11年度末までに医療的ケア児支援の協議の場を設置することを基本とする。	今後も1カ所を見込む。
	医療的ケア児に対する関連分野支援コーディネーター	配置人数	人	3月末時点の人数	2	2	1	2	-	2	1	2	2	2	地域における医療的ケア児等のニーズ等を勘案して、必要となる配置人数の見込みを設定する。	令和9年度以降はコーディネーター2名の設置を見込む。
④	地域生活支援拠点等の整備	設置数	か所	年間実績	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	令和11年度末までに地域生活支援拠点等の整備することを基本とする。コーディネーター配置などの効果的な運用等を行う。	平成29年度、圏域に1箇所整備済み。
	地域生活支援拠点等の機能の充実に向けた検証及び検討の実施回数	実施回数	回	年間実績	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	機能の充実に向けた検証及び検討をすることを基本とする。	自立支援協議会（圏域）で年1回実施することを見込む。
⑤	基幹相談支援センターの設置	設置数	か所	3月時点	0	0	0	0	-	-	0	1	1	1	基幹相談支援センターの設置及び協議会との連携等に取り組むことを基本とする。	令和9年度からの基幹相談支援センターの設置を目標とする。
	のぞまないセルフプラン数	件数	件	年間実績	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	令和11年度までに、のぞまないセルフプランの件数を0にすることを基本とする。	現在、のぞまないセルフプランの件数は0であるため、引き続き0を見込む。

2. 障がい福祉サービス等の見込み量（活動指標）

項目		数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成）最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法
訪問系サービス	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援	総利用時間数	時間	3月分の実績	1659	1870	2035	1855	18	1807	2055.25	2055.25	2205.25	2205.25	現に利用している者の数、障がい者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	-
		利用人数	人	3月分の実績	97	105	105	102	-	100	104	104	105	105		
	居宅介護	総利用時間数	時間	3月分の実績	1039	1350.75	1425.75	1272	16	1050	1425.75	1425.75	1425.75	1425.75		
		利用人数	人	3月分の実績	78	81	81	80	-	79	81	81	81	81		
	重度訪問介護	総利用時間数	時間	3月分の実績	247	112	248.5	203	102	231	248.5	248.5	248.5	248.5		
		利用人数	人	3月分の実績	2	1	2	2	-	2	2	2	2	2		
	同行援護	総利用時間数	時間	3月分の実績	277	302	259.5	280	16	290	280	280	280	280		
		利用人数	人	3月分の実績	15	19	17	17	-	16	17	17	17	17		
	行動援護	総利用時間数	時間	3月分の実績	95.5	105.5	101	101	25	86	101	101	101	101		
		利用人数	人	3月分の実績	2	4	5	4	-	2	4	4	4	4		
	重度障害者等包括支援	総利用時間数	時間	3月分の実績	0	0	0	0	-	150	0	0	150	150		
		利用人数	人	3月分の実績	0	0	0	0	-	1	0	0	1	1		
日中活動系サービス等	生活介護	サービス利用量	人日分	3月分の実績	2379	2435	2608	2474	19	2690	2608	2627	2646	2665	障がい者等のニーズ、特別支援学校卒業生数、就労移行支援・就労継続支援利用者等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	令和8年度は令和7年度実績と回数を見込み、R9以降は年1人（19日）の増加を見込む。
		利用人数	人	3月分の実績	126	127	134	129	-	134	134	135	136	137		
	自立訓練（機能訓練）	サービス利用量	人日分	3月分の実績	0	0	0	0	-	20	0	20	20	20		
		利用人数	人	3月分の実績	0	0	0	0	-	1	0	1	1	1		
	自立訓練（生活訓練）	サービス利用量	人日分	3月分の実績	15	41	10	22	-	24	22	22	22	22		
		利用人数	人	3月分の実績	1	3	1	2	-	2	2	2	2	2		
	就労選択支援	利用人数	人	3月分の実績	-	-	0	0	-	-	34	34	34	34		
	就労移行支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	21	69	74	55	14	70	55	60	66	72		
		利用人数	人	3月分の実績	2	5	4	4	-	4	4	5	5	6		
	就労継続支援A型	サービス利用量	人日分	3月分の実績	357	470	469	432	20	382	469	489	509	529		
		利用人数	人	3月分の実績	18	25	24	22	-	18	24	25	26	27		
	就労継続支援B型	サービス利用量	人日分	3月分の実績	2744	2697	2804	2748	16	3257	2804	2948	3092	3236		
		利用人数	人	3月分の実績	170	166	175	170	-	181	175	184	193	202		
	就労定着支援事業（再掲）	利用人数	人	3月分の実績	2	1	2	2	-	5	2	3	4	5		
	療養介護	利用人数	人	3月分の実績	17	18	17	17	-	17	17	17	17	17		
	短期入所（福祉型）	サービス利用量	人日分	3月分の実績	154	207	166	176	5	173	176	176	176	176		
		利用人数	人	3月分の実績	32	35	35	34	-	33	34	34	34	34		
	短期入所（医療型）	サービス利用量	人日分	3月分の実績	3	4	0	2	-	3	0	3	3	3		
		利用人数	人	3月分の実績	1	1	0	1	-	1	0	1	1	1		

項目		数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成）最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方 （国の基本指針）	本市の見込方法
居住系サービス	共同生活援助	実利用者数	人	3月末時点の人数	99	108	120	109	-	111	125	130	135	140	現に利用している者の数、障がい者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	現に利用している者の数、障がい者等のニーズ等を勘案して年5名増を見込む。
	施設入所支援（再掲）	施設入所支援	人	3月末時点の人数	64	67	65	65	-	63	64	63	62	61	令和7年度末の5%以上削減することを基本とする。	令和7年度末時点の施設入所者数65人の5%以上を地域移行の目標とする。R11で4人減少を見込む。
	自立生活援助	実利用者数	人	3月分の実績	0	0	0	-	-	3	0	1	2	3		令和9年度を1人と見込み、以降は年1人の増加を見込む。
相談支援	計画相談支援	利用人員	人	3月末時点の人数 （給付決定者）	485	498	497	493	-	487	497	502	507	512	現に利用している者の数、障がい者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	令和8年度は令和7年度実績と同数を見込み、令和9年度以降は年5人の増加を見込む。
	地域移行支援	利用人員	人	3月末時点の人数 （給付決定者）	0	0	0	0	-	1	0	1	1	1		令和9年度から1人の利用を見込む。
	地域定着支援	利用人員	人	3月末時点の人数 （給付決定者）	0	0	0	0	-	1	0	1	1	1		令和9年度から1人の利用を見込む。
障がい児通所支援	児童発達支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	293	357	500	383	9	324	564	628	692	756	地域における児童の数の推移、現に利用している者の数、障がい者等のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	令和5年度から令和6年度年度の伸び幅で各年を見込む。（量：357-293=64、人数：42-33=9）
		利用人数	人	3月分の実績	33	42	59	45	-	34	68	77	86	95		
	医療型児童発達支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	4	4	0	3	3	4	4	4	4	4		1人の利用を見込む。
		利用人数	人	3月分の実績	1	1	0	1	-	1	1	1	1	1		
	放課後等デイサービス	サービス利用量	人日分	3月分の実績	1010	1087	1020	1039	10	1050	1020	1040	1060	1080		令和8年度は令和7年度実績と同数を見込み、令和9年度以降は年2人（20日）の増加を見込む。
		利用人数	人	3月分の実績	103	101	97	100	-	97	97	99	101	103		児童発達と放課後デイの増分等を考慮して年10人程度の増加を見込む。
	障害児相談支援	利用人員	人	3月末時点の人数 （給付決定者）	149	162	177	163	-	159	187	197	207	217		
	保育所等訪問支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	0	0	0	0	-	1	1	1	1	1		1人（1日）の利用を見込む。
		利用人数	人	3月分の実績	0	0	0	0	-	1	1	1	1	1		
	居宅訪問型児童発達支援	サービス利用量	人日分	3月分の実績	0	0	0	-	-	8	0	0	4	8		令和11年度までに2人の利用を見込む。
		利用人数	人	3月分の実績	0	0	0	-	-	2	0	0	1	2		
	医療的ケア児に対する関連分野支援コーディネーター（再掲）	配置人数	人	3月末時点の人数	2	2	1	-	-	2	1	2	2	2		令和9年度以降はコーディネーター2名の設置を見込む。

3. 地域生活支援事業の見込み量（活動指標）

項目	数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成）最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法
理解促進研修・啓発事業	事業数	件	年間実績	2	2	2	2	-	3	3	3	3	3	基本指針に即して地域の実情に応じた目標利用者数及び量の見込みを設定する。	令和7年度実績より3事業の実施を見込む。
自発的活動支援事業	委託等事業所数	件	年間実績	1	1	2	1	-	2	3	3	3	3		令和7年度実績より3ヵ所の委託を見込む。
障がい者相談支援事業	委託事業所数	件	年間実績	11	10	10	10	-	11	9	9	9	10		令和8年度から1事業所減少。令和11年度までに1事業所増加を見込む。
基幹相談支援センター機能強化事業	実施の有無	-	年間実績	無	無	無	無	-	有	無	有	有	有		令和9年度からの基幹相談支援センターの設置を目標とする。
成年後見制度利用支援事業	利用件数	件	年間実績	1	2	1	1	-	2	2	2	2	2		現利用者1人から2人へ増加を見込む。
手話通訳者、要約筆記者の派遣	利用件数	件	年間実績	7	8	7	7	-	18	10	10	10	10		過去3ヵ年を考慮し、年10件程度を見込む。
手話通訳者設置事業	手話通訳者配置人数	人	通年	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1		現行の配置人員を見込む。
（日具）介護・訓練支援用具	利用件数	件	年間実績	0	2	2	1	-	5	2	2	2	2		過去3ヵ年の最大値を見込む。
（日具）自立生活支援用具	利用件数	件	年間実績	2	4	7	4	-	6	4	4	4	4		過去3ヵ年の平均を見込む。
（日具）在宅療養等支援用具	利用件数	件	年間実績	3	3	8	5	-	5	5	5	5	5		過去3ヵ年の平均を見込む。
（日具）情報・意思疎通支援用具	利用件数	件	年間実績	22	16	17	18	-	18	18	18	18	18		過去3ヵ年の平均を見込む。
（日具）排泄管理支援用具	利用件数	件	年間実績	1222	1205	1164	1197	-	1314	1197	1197	1197	1197		過去3ヵ年の平均を見込む。
（日具）住宅改修費	利用件数	件	年間実績	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1		過去3ヵ年の平均を見込む。
手話奉仕員養成研修事業	利用件数	件	年間実績	10	10	7	9	-	9	9	9	9	9		過去3ヵ年の平均を見込む。
移動支援事業	総利用時間	時間	年間実績	4879	4629	4430	4646	69	5290	4646	4784	4922	5060	基本指針に即して地域の実情に応じた目標利用者数及び量の見込みを設定する。	令和8年度は過去3ヵ年の平均を見込み、令和9年度以降は年2人（138時間）の増加を見込む。
	実人員	人	年間実績	71	65	65	67	-	80	67	69	71	73		
項目	数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成）最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法
地域活動支援センター機能強化事業	サービス利用量	人	3月分実績の1日当たりの利用量（延べ利用者数／開所日数）	34	31	32	32	-	34	32	32	32	32	基本指針に即して地域の実情に応じた目標利用者数及び量の見込みを設定する。	-
	実人員	人	3月分の実績	70	68	63	67	-	86	68	68	68	68		
	Ⅰ型	サービス利用量	3月分実績の1日当たりの利用量（延べ利用者数／開所日数）	25	22	23	23	-	25	23	23	23	23		過去3ヵ年平均（23人）で同推移すると見込む。
		実人員	3月分の実績	39	40	37	39	-	53	39	39	39	39		過去3ヵ年平均（39人）で同推移すると見込む。
		施設数	3月時点における利用可能施設数	4	4	4	4	-	4	4	4	4	4		4ヵ所の利用継続を見込む。 （中讃、わかたけ、ライブ、はなぞの）
	Ⅱ型	サービス利用量	3月分実績の1日当たりの利用量（延べ利用者数／開所日数）	8	8	8	8	-	8	8	8	8	8		過去3ヵ年平均（8人）で同推移すると見込む。
		実人員	3月分の実績	28	27	23	26	-	30	26	26	26	26		過去3ヵ年平均（26人）で同推移すると見込む。
		施設数	3月時点における利用可能施設数	2	2	3	2	-	2	3	3	3	3		3ヵ所の利用継続を見込む。（身体障害者ﾎﾂﾂﾞｰ坂出、さくらとおりーぶ、もえぎの里）
	Ⅲ型	サービス利用量	3月分実績の1日当たりの利用量（延べ利用者数／開所日数）	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1		過去3ヵ年平均（1人）で同推移すると見込む。
		実人員	3月分の実績	3	1	3	2	-	3	3	3	3	3		令和7年度実績（3人）で同推移すると見込む。
		施設数	3月時点における利用可能施設数	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1		1ヵ所の利用継続を見込む。（たつのこ作業所）
福祉ホーム	実人員	人	3月分の実績	2	2	3	2	-	2	3	3	3	3	基本指針に即して地域の実情に応じた目標利用者数及び量の見込みを設定する。	令和7年度実績と同数を見込む。
訪問入浴	サービス利用量	人日分	年間実績	96	213	302	204	68	102	302	302	302	302		令和7年度実績と同数を見込む。
	利用人数	人	年間実績	2	3	3	3	-	1	3	3	3	3		
日中一時支援	サービス利用量	人日分	年間実績	516	485	448	483	20	564	483	503	523	543		令和8年度は過去3ヵ年の平均を見込み、令和9年度以降は年1人（20時間）の増加を見込む。
	利用人数	人	年間実績	20	25	27	24	-	23	24	25	26	27		

4. 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築（活動指標）

項目	数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成）最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法
保健、医療、福祉関係者による協議の場の開催	回数	回	年間実績	6	6	6	6	-	-	6	6	6	6	市町村ごとの保健、医療及び福祉関係者による協議の場を通じて、重層的な連携による支援体制を構築するために必要となる、協議の場の一年間の開催回数の見込みを設定する。	協議の場として、自立支援協議会の包括ケア部会を設けているので、自立支援協議会の包括ケア部会の開催予定数を見込む。
保健、医療、福祉関係者による協議の場への参加者数	人数	人	年間実績	13	13	13	13	-	-	14	14	14	14	市町村ごとの保健、医療及び福祉関係者による協議の場を通じて、重層的な連携による支援体制を構築するために必要となる、保健、医療、福祉、介護、当事者及び家族等の関係者ごと（医療にあっては、精神科及び精神科以外の医療機関別）の参加者数の見込みを設定する。	行政（市・福祉） 1人 行政（市・保健医療） 1人 行政（市・介護） 1人 行政（他町・福祉） 2人 行政（中讃保健所・保健医療） 1人 社協（坂出・宇多津・綾川） 3人 福祉事業所 3人 医療機関 2人 （※宇多津社協は令和8年度から参加）
保健、医療、福祉関係者による協議の場の評価の実施	回数	回	年間実績	1	1	1	1	-	-	1	1	1	1	都道府県、障害福祉圏域、市町村ごとの保健、医療及び福祉関係者による協議の場を通じて、重層的な連携による支援体制を構築するための協議の場における目標設定並びに活動状況の把握及び評価の見込みを設定する。	今後も年1回を見込む。
心のサポーターの指導者数	人数	人	年間実績	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1		心のサポーターの養成のための心のサポーター養成研修の一年間の実施回数の見込みを設定するところ、現在坂出市に指導者がいないことから指導者の養成に取り組むところから始める。
精神保健福祉相談員講習会等の参加人数	人数	人	年間実績	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1		県が市町向けに実施する「にも包括」の研修会に参加する。参加者1人を見込む。
精神障がい者の地域移行支援利用者数	人数	人	年間実績	0	0	0	0	-	-	0	1	1	1	現に利用している精神障がい者の数、精神障がい者のニーズ等を勘案して、利用者数及び量の見込みを設定する。	令和9年度から1人の利用を見込む。
精神障がい者の地域定着支援利用者数	人数	人	年間実績	0	0	0	0	-	-	0	1	1	1		令和9年度から1人の利用を見込む。
精神障がい者の共同生活援助利用者数	人数	人	年間実績	72	73	78	74	-	-	81	84	87	90		令和9年度を1人と見込み、以降は年1人の増加を見込む。
精神障がい者の自立生活援助利用者数	人数	人	年間実績	0	0	0	0	-	-	0	1	2	3		過去3カ年の最大値を見込み、以降は年1人の増加を見込む。
精神障がい者の自立訓練（生活訓練）利用者数	人数	人	年間実績	0	1	2	1	-	-	2	3	4	5		過去3カ年の平均を見込む。
精神障がい者の短期入所利用者数	人数	人	年間実績	4	5	6	5	-	-	5	5	5	5		

5. 相談支援体制の充実・強化等（活動指標）

項目	数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成）最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法
基幹相談支援センター機能強化事業（再掲）	実施の有無	-	年間実績	無	無	無	無	-	有	無	有	有	有	基幹相談支援センターの設置及び協議会との連携等に取り組むことを基本とする。	令和9年度からの基幹相談支援センターの設置を目標とする。
協議会の実施回数	実施回数	回	年間実績	6	6	6	6	-	-	6	6	6	6		今後も年6回を見込む。
協議会の専門部会設置数	部会数	部会	3月時点	5	5	5	5	-	-	5	5	5	5		今後も5部会を見込む。
協議会における個別事例の検討実施回数	実施回数	回	年間実績	3	3	3	3	-	-	3	3	3	3		今後も年3回を見込む。
協議会における個別事例の参加機関数	機関数	機関	年間実績	28	28	28	28	-	-	29	29	29	29		令和8年度から1事業所が追加となり29機関。継続して見込む。

6. 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築（活動指標）

項目	数値	単位	数値の考え方	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	平均	1人当たり	7期計画（R5作成）最終目標	令和8年度見込み	令和9年度見込み	令和10年度見込み	令和11年度見込み	目標値の考え方	本市の見込方法
障がい福祉サービス等に係る各種研修への参加人数	人数	人	年間実績	-	-	-	-	-	-	8	8	8	8		障がい福祉係の職員数（通常の勤務体系で業務を行う者）で見込む。